

都市計画道路山手幹線（梅野町工区）工事説明会

要 旨

■日 時：令和6年(2024年)10月14日(月) 15:00~16:30

■場 所：南口会館

■参加者：40名程度

■説明会概要：市より、当該工事の事業概要、今回施工する工事内容および通行規制等について、配布資料及びスライドを用いて説明を行いました。

当日の意見交換、質疑応答の要旨は以下のとおりです。文章中の「Q1~5」につきましては、当日に市が回答できていない内容になりますので、別紙「質疑回答」にて検討結果を報告します。

■意見交換・質疑応答の要旨

<凡例> ●：参加者のご意見 ○：市の説明

●今年度の工事費はどれくらいか、また来年度の工事費はどれくらいか

○工事費につきましては、今年度、来年度とも約1億円強を想定しています。

●（旧宝塚ホテル跡地の）マンション建設で人が何人増え、この道路整備事業でどの程度捌けるのか、その根拠を数字で説明してください

○旧宝塚ホテルの土地利用の転換時期をタイミングとして事業を行っておりますが、本事業は「駅前でありながら、狭小な片側歩道しかないという宝塚南口駅前が持つ課題の改善」を目的としております。増加する交通量を根拠に整備を行っているものではございません。

●これまでの課題を放置しておいて、慌てて整備したように感じるが

○関係地権者（阪急阪神不動産（株））による土地利用の転換のタイミングに合わせて整備を行うこととしました。

●現状、サンビオラ前交差点の右折待ちの車両等が原因で、イカリスーパー（状況によってはもっと）辺りまで渋滞の列が続いている。朝夕が渋滞が特にひどい。通行止め区間が発生すると、更に渋滞が助長される。何か対策してもらいたい。

○検討します。「Q1」

●サンビオラ前交差点の信号機を、時差信号にすることはできないのか。警察に要望しては、市長など、立場が上の者から要請するべきでは。

○現状、警察からは困難であると聞いています。警察には再度確認、協議いたします。「Q2」

●市民マラソン時にも市は通行止めを行っており、その際には山下橋方面の生活道路を迂回路として設定していたのでは。マラソンの例を参考に他の迂回路についても検討しては。

○市民マラソン時の迂回路について確認します。「Q3」

●約半年間の通行止めは長すぎる。宝塚南口郵便局前の横断歩道の歩行者は今でも多いが、規制に伴い、横断者がさらに多くなる懸念がある。また、同横断歩道は通学児童も利用している。ガードマンの配置が必要である。

○（当日回答できず）「Q4」

●河川のボックスカルバート化に関して、想定外の降雨に対応できるのか。

○現状、暗渠部分に計画容量を満たしていない断面があるほか、今回工事により暗渠部分の延長が長くなります。河川管理者である県と協議し、基準に基づいた設計を行った結果、計画容量の1.3倍の断面を確保することとなりました。以上のことから、今回工事により計画容量を満たす断面となります。

●山手幹線の全体を整備する予定はあるのか。

○山手幹線は西宮市まで繋がる都市計画道路であり、現在の都市計画道路整備プログラム上では10年以内（令和6年度～令和15年度まで）に事業着手する路線には位置付けておらず、早期に整備を行う予定はありません。

●歩行者の迂回路について、迂回にどの程度の距離、時間を要するのか、具体的な数字を用いて説明すべきでは。

○（当日回答できず）「Q5」

●今回の説明会の意見に対する回答をしてもらいたい。

○質疑回答を作成し、ホームページに掲載するようにします。

●ホームページを見られない人はどうするのか。

○説明会のお知らせと同様に、自治会長様に依頼を行い、回覧していただくようにします。

令和6年10月末頃を目途に作成し、各自治会長様宛に回覧の依頼を行う予定です。

回覧のタイミングは各自治会により異なるため、場合によっては皆様への周知が遅くなる可能性があります。

※本事業の実施において、皆様のご意見、ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

宝塚市 都市安全部 道路整備課 担当：松笠、高木

TEL 0797-77-2098、FAX 0797-77-9119

E-Mail m-takarazuka0088@city.takarazuka.lg.jp